

Date:2017/8/2

富山県立南砺福野高校の生徒40名が 利賀ダムの工事現場を見学！！

平成29年7月13日(木)に富山県立南砺福野高校の農業環境課の1年生と造園土木類型の2年生、生徒40名が利賀ダムの工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、ダム事業や橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力を学生に伝えるものです。

まず最初に見学する生徒の代表者から「利賀ダムの工事現場をしっかりと学びたい」と挨拶をいただきました。

庄川橋梁の現場では職員から庄川橋梁の概要説明を聞いて、現在施工中の床版工事を見学しました。次に、同校出身の技術者2名(受注業者)から自分の担当する工事の説明をしていただきました。長崎橋床版工事の現場を担当している先輩から「在学中、校内で舗装工事を見学したのがきっかけで建設業に興味を持ち、建設業へ入った」次に口山地区法面对策工事を担当されていた先輩は「担当工事が終わった後に近隣の方からありがとうと言われたりすると嬉しい、子供に自慢が出来る」など土木を志したきっかけと仕事のやりがいについて生徒に熱い想いを語っていただきました。

午後から、座学として「ダムの構造と施工手順について」など講義を職員から受けました。この見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただいたと思います。



生徒代表者の挨拶



記念撮影(庄川橋梁のアーチ部材前にて)



同校の先輩技術者から後輩へ(左から長崎橋・口山地区)



座学の様子